

JOC ジュニアオリンピックカップ兼 JSAF ジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ
(World Sailing Youth Sailing World Championships 代表選考大会)

帆走指示書 ver. 5/2

1 規則

- 1.1 セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1 を変更している。

2 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下「指示」という。)の変更は、それが発効する当日の9:00 までに掲示する。
ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 18:00 までに掲示する。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 オンライン公式掲示板は、
<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/11168/event> に設置する。



- 3.2 競技者への通告は、LINE オープンチャットを用いて通告することがある。

右の QR コードをスキャンすることで招待が受けられる。

<https://x.gd/9FscR> 参加コード joc2025



[DP] LINE オープンチャットへの投稿は主催団体、レース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会に限り、競技者、支援者は投稿してはならない。

- 3.3 [DP] レース中、緊急の場合を除き、艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4 行動規範

- 4.1 [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発する信号は、和歌山セーリングセンター「クラブハウス」2階北側にある信号柱に掲揚する。
- 5.2 [DP][NP]音響1声とともに掲揚される「D旗」は、「予告信号は、D旗掲揚後 30 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、離岸してはならない。
- 5.3 指示 6.1 に示された個別のレースに対して「AP旗」は掲揚しない。予告信号予定時刻の 30 分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている。

6 レース日程及びフリート分け

6.1 レース日程

日程	時刻	
5月3日(金)	10:55	最初のクラスの予告信号の予定時間
5月4日(土)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号の予定時間
5月5日(日)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号の予定時間

6.2 レース数

クラス	レース数	1日あたりの最大レース数
420 オープン/女子	9	5
29er オープン/女子	9	5
ILCA6 男子/女子	9	5
iQFOiL 男子/女子	12	8

6.3 フリート分けを行わない。

6.4 5月4日、5日の8:30から、クラブハウス1階玄関前でブリーフィングを行う。

6.5 1つのレース又は一連のレースが、間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分前に音響1声とともにオレンジ色の「スタート・ライン旗」を掲揚する。

6.6 5月5日(日)は、14:00より後に予告信号を発しない。

7 クラス旗

クラス旗は次のとおりとする。

クラス	旗の色と形象
420 クラス オープン・女子	白地に青の420クラスマーク
ILCA6 クラス 男子・女子	黄地に赤のILCAクラスマーク
29er クラス 男子・女子	赤地に黒の29erクラスマーク
iQFOiL クラス 男子・女子	F旗

8 レース・エリア

「添付図1」にレース・エリアの位置を示す。なお、420クラス、ILCA6クラス、29erクラスは西側のWESTエリア、iQFOiLクラスはEASTエリアで行う。

9 コース

9.1 「添付図2」の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇船尾に、最初のレグのおおよそのコンパス方位を示す掲示板を掲示する。

9.3 帆走すべきコース

クラス	帆走すべきコース
420 クラス オープン・女子	コース“O”(トラペゾイド アウターループ) コース“L”(上下・下フィニッシュ)
ILCA6 クラス 男子・女子	コース“I”(トラペゾイド インナーループ) コース“L”(上下・下フィニッシュ)
29er クラス オープン・女子	コース“L”(上下・下フィニッシュ)
iQFOiL クラス 男子・女子	コース“L”(上下・下フィニッシュ) コース“SG”または“SR”(スラローム)

10 マーク

10.1 420 クラス、ILCA クラス、29er クラス

- 10.1.1 マーク1及び2、3s及び3pは自走式マーク(赤色)、4s及び4pは自走式マーク(赤色)とする。
 - 10.1.2 指示 13 に従いコースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(又はフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを除去する。新しいマークはピンク色の円錐形ブイとする。
 - 10.1.3 スタート・マークはオレンジ旗を掲げたレース委員会の信号船と、自走式マーク(赤色)とする。
 - 10.1.4 フィニッシュ・マークは青色旗を掲げたレース委員会船とあるオレンジ色の三角錐ブイとする。
- ### 10.2 iQFOiLクラス
- 10.2.1 コース”L”のマーク1は青色の円錐形ブイ、マーク2はオレンジ色の円柱形ブイ(スタート・マークと併用)とする。スラロームマーク1,2,3は黄色のシリンダー方に青帯、帯無し、赤帯のブイとする。
 - 10.2.2 スタート・マークは、オレンジ旗を掲げたレース委員会の信号船とオレンジ色の円柱形ブイとする。
 - 10.2.3 フィニッシュ・マークは、青色旗を掲げたレース委員会船とオレンジ色の三角錐ブイとする。

11 障害物

- 11.1 「添付図 1」に示す。

12 スタート

- 12.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているボールのコースの側の間とする。
 - 12.2 [DP][NP]予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。
 - 12.3 スタート信号後、4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』(DNS)と記録される。これは規則 A5.1 を変更している。
 - 12.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会の信号艇以外の当該レース委員会艇が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および規則 29.2 を変更している。
- ### 12.5 iQFOiL クラス
- 12.5.1 方式 2(リーチング・スタートに適用)
レースは、次の信号を用いてスタートさせなければならない。計時は視覚信号から行わなければならない。音響信号の不発は、無視されなければならない。

スタート信号 までの時間(分)	視覚信号	音響信号	意味
3	クラス旗	1 声	予告信号
2	U 旗または黒色旗	1 声	準備信号
1	準備旗降下	1 声	1 分
0	クラス旗降下	1 声	スタート信号

この項は、規則 B3 26.2 を変更している。

13 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(又はフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを除去する。

14 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコースの側の間とする。

15 ペナルティー方式

- 15.1 指示 19 の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対して、レース委員会は審問なしに 20%の得点ペナルティーを課す。ただし、その艇は「フィニッシュしなかった艇」より悪い得点が与えられることはない。この項は、付則 A5 を変更している。なお、引き続きのレースが行われた場合には、指示 19.1 の手続きの誤りについては、その最初のレースのみにペナルティーを課す。
- 15.2 29er クラス及び iQFOiL クラスは、規則 44.1 及び付則 P2.1 を変更し、29er クラスは『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に、iQFOiL クラスは『2 回転ペナルティー』を『360° の回転ペナルティー』に置き換えて適用される。
- 15.3 規則 50.1 および各クラス規則の違反によるペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により軽減することができる。

16 タイム・リミットとターゲット・タイム

- 16.1 各クラスのそれぞれのタイム・リミット、ターゲット・タイム及びフィニッシュ・ウインドを下表に示す。

クラス	マーク1の タイム・リミット	ターゲット・タイム	フィニッシュ・ ウインドウ
420 クラス	20 分	45 分	15 分
ILCA6 クラス	20 分	45 分	15 分
29er クラス	15 分	30 分	15 分
iQFOiL クラス 上下コース	15 分	25 分	10 分
iQFOiL クラス スラローム	3 分	8 分	4 分

- 16.2 マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇も最初のマークを通過しなかった場合、レースは中止する場合がある。
- 16.3 コースを帆走した最初の艇がフィニッシュした後、フィニッシュ・ウインドまでにフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。この項は規則 35 を変更している。
- 16.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 61.4(b)を変更している。

17 審問要求

- 17.1 抗議または救済や審問再開の要求は、web サイトのオンラインフォーム [”審問リクエストフォーム”](#)にて、適切な締切時間内に提出しなければならない。
- 17.2 [抗議締切時刻](#)はその日のそのクラスの最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日よりこれ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。
- 17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 15 分以内に[掲示](#)する。審問は和歌山セーリングセンター新クラブハウス 2 階にあるプロテスト・ルームにて[掲示](#)した時刻に始められる。
- 17.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則 60.2(d)に基づき伝えるためにオンライン[掲示板](#)に[掲示](#)する。
- 17.5 審問再開は、判決を通告された翌日の抗議締切時刻までの間に限り求めることができる。ただし、5 月 5 日(日)に判決を通告された場合には、通告されてから 15 分以内とする。これは規則 63.7(b)を変更している。

17.6 5月5日(日)では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は判決の掲示から15分以内でなければならぬ。これは規則63.7(b)を変更している。

18 得点

18.1 シリーズの成立には、1レースを完了することが必要である。(ただし、2025年World Sailing Youth Sailing World Championshipsの日本代表選手の選考大会としての成立条件は4レース以上とする。3レース以下の実施となった際の選考得点の計算方法は日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の公示を参照)

18.2 (a) 完了したレースが、5レース未満だった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

(b) 完了したレースが、5レース以上だった場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これは規則付則A2.1を変更している。

18.3 参加艇数とは、開会式までに大会受付を完了した艇数とする。

18.4 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、webサイトの[“得点照会フォーム”](#)にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事ができる。

19 安全規程

19.1 [NP]出艇しようとする競技者は、「レース申告受付所」で出艇申告として「航跡記録装置」を、その日の最初のレースのD旗掲揚10分後までに受け取らなければならない。出艇申告および帰着申告は「航跡記録装置」により自動的に行う。なお、「航跡記録装置」は、その日のレース終了後60分後までに返却しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。

19.2 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、リタイアの意思を近くの運営船に伝え、速やかにレース海面を離れなければならない。

19.3 レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。この項は、艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則61.1(a)を変更している。

20 [NP]装備の交換

[DP]損傷又は紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の適切な機会に、[書面\(装備交換フォーム\)](#)によりテクニカル委員会に行わなければならない。

21 装備と計測のチェック

21.1 艇又は装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

21.2 [DP] 水上でレース・オフィシャルに指示された場合、艇は検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

22 運営船の標識

運営船	識別旗
レース委員会船	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会船	赤地に白字「PROTEST」
救助船	緑地に白字「RESCUE」
メディア船	白地に緑文字「MEDIA」

テクニカル委員会船

白地に赤字「MEASUREMENT」

23 支援者船

- 23.1 出艇から帰着するまでの間、「ピンク色旗」を明確に掲揚しなければならない。「ピンク色旗」はレース委員会で用意され、閉会式までに返却しなければならない。
- 23.2 支援者船のドライバーは、支援者船のギアが入っている間、キルコードをしっかりと体に取り付けておかなければならない。
- 23.3 艇および運営艇の運航を妨げてはならない。また最初にスタートするクラスの予告信号時刻からすべての艇がフィニッシュするか、もしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまでは、支援者船はレースをしているエリアの 100m 以上の外側にいなければならない。
- 23.4 天候等の状況により、レース委員会から支援者船に対する救助要請を行う場合、レース委員会艇に「ピンク色旗」を掲揚する。この場合、指示 23.3 は適用されない。「ピンク色旗」がクラス旗の上に掲揚された場合は、そのクラスのみに当該信号が適用される。

24 ごみの処分

ごみは、支援艇又は大会運営艇に渡してもよい。規則 47[ごみの処分]参照。

25 [DP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

26 賞

賞はレース公示の通りとする。

27 リスク・ステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

審問リクエストフォーム



抗議書

得点照会フォーム



得点照会の送信

オンライン公式掲示板



公式掲示板

審問スケジュール



抗議審問の予定

審問結果



抗議判決

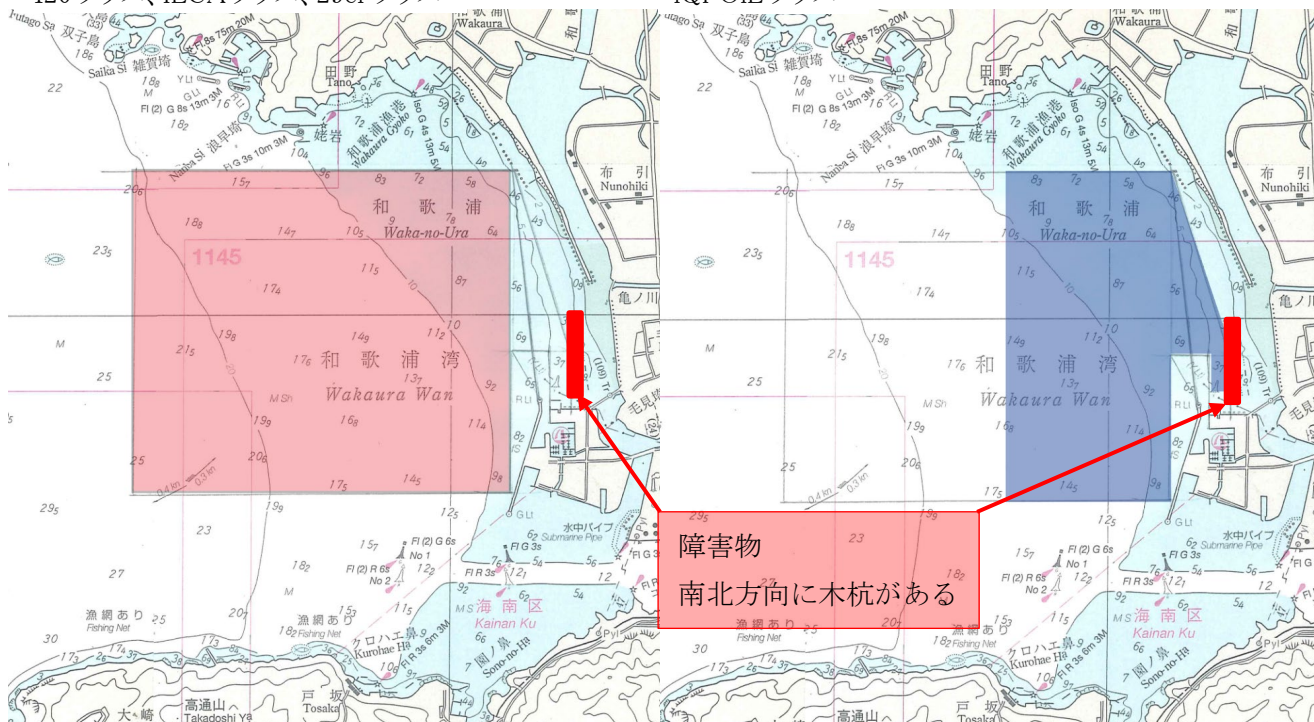
添付図 1 レース・エリア

WEST エリア

420 クラス、ILCA クラス、29er クラス

EAST エリア

iQFOiL クラス



添付図 2 レース・コース

iQFOiL クラス

コース ”SG”

ダウンウインド・スラローム

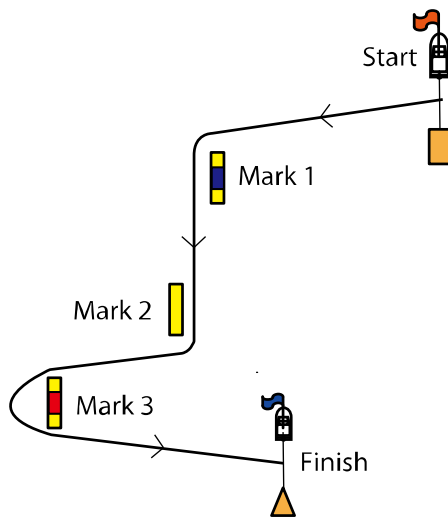
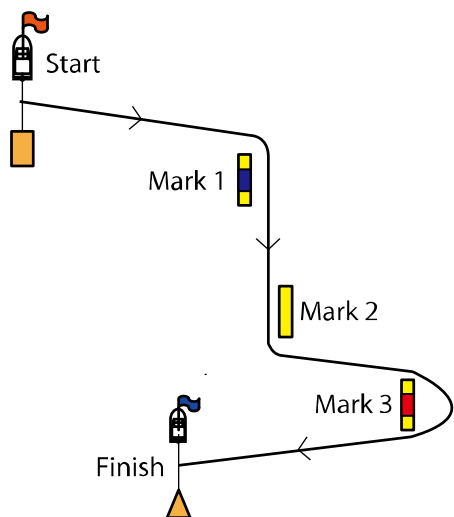
SG: Start-1-2-3-Finish

iQFOiL クラス

コース ”SR”

ダウンウインド・スラローム

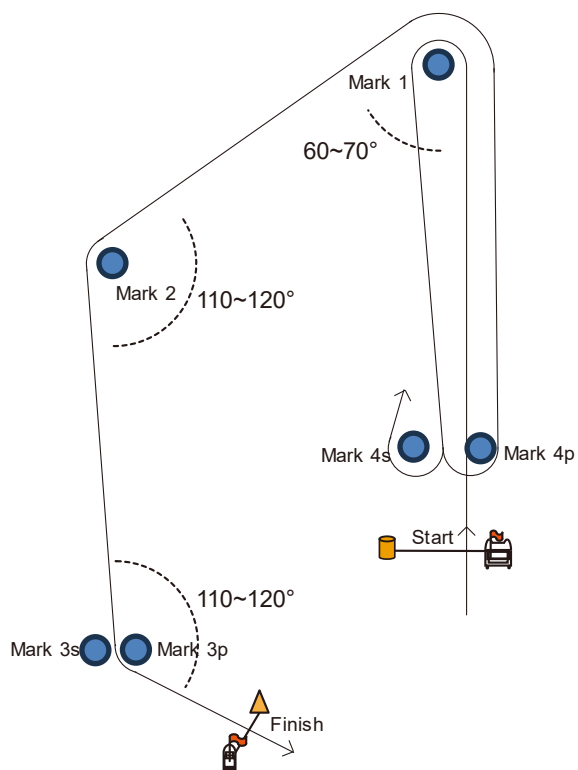
SR: Start-1-2-3-Finish



ILCA クラス

コース "I" トラペゾイド インナーループ

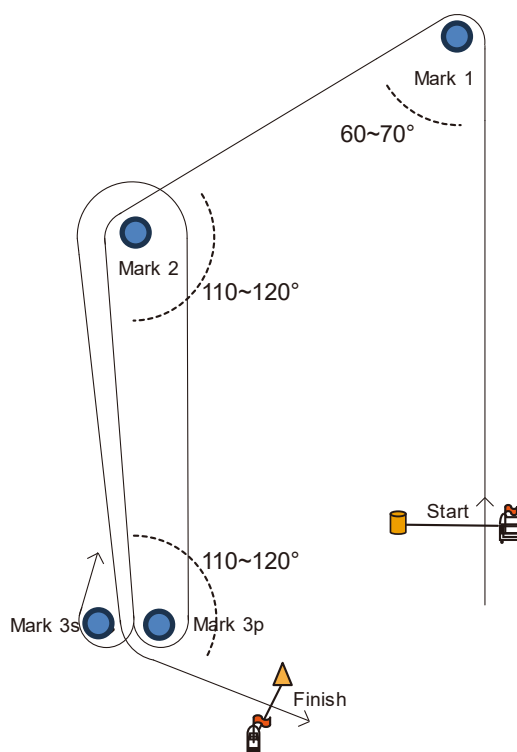
I: Start-1-4s/4p-1-2-3p-Finish



420 クラス

コース "O" トラペゾイド アウターループ

O: Start-1-2-3s/3p-2-3p-Finish

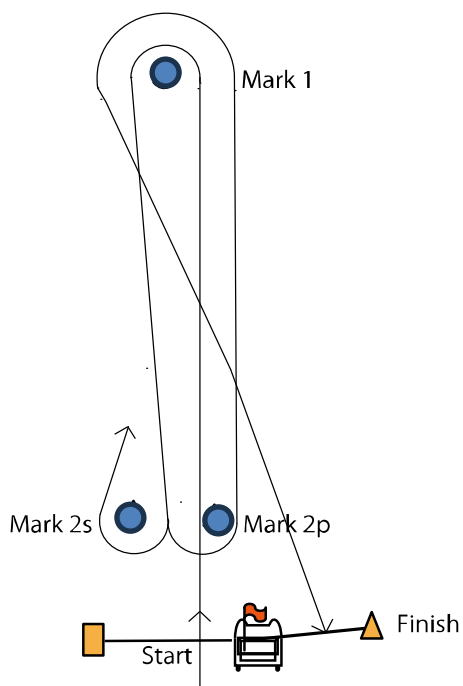


29er クラス

コース "L"

上下・下フィニッシュ

L: Start-1-2s/2p-1-Finish



iQFOiL クラス

コース "L"

上下・下フィニッシュ

L: Start-1-2-1-Finish

